

令和8年度 直川小学校 学校運営計画書(スクールプラン)

校長名 宮本 直周

作成日 令和8年4月1日

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の充実
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子供の安全確保の徹底
- 地域とともにある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 学力を定着させて欲しい
- 保護者・地域と学校の協働による教育活動や行事を継続してほしい
- 教育活動を伝えるため、さらに情報発信し、学校を公開してほしい
- 地域とともにある学校、歴史ある学校であることを強く意識して直川のよさを継承してほしい

【学 校 教 育 目 標】

人間として生きるよろこびを感じ、
たくましく、ゆたかに、未来をひらく
子どもを育成する。

【めざす児童像】

- ・健康でたくましい子
- ・心ゆたかな子
- ・よく考え、自ら学ぶ子

前年度の学校評価

- 地域やPTAの行事に対する意識を指標としてはどうか。
- 子供たちの危機管理意識を指標としてはどうか

児童の実態

- 決まりや時間を守って行動することができる児童が多い
- 自分の役割を責任をもって取り組める児童が多い
- 家庭での読書時間が短くなっている

重点目標

確かな学力の向上

- ◎基礎基本の確かな定着
- ◎児童の「話し合い」「聴き合い」を中心とした授業づくり
- ◎読書活動の推進

豊かな心の育成

- ◎道徳・人権教育の充実
- ◎いじめの未然防止、早期発見
- ◎思いやりのある子供の育成

健やかな体の育成

- ◎体力向上の推進
- ◎基本的生活習慣の確立
- ◎危機回避能力の育成

地域とともにある学校

- ◎家庭・地域との連携充実
- ◎幼保小の連携・接続、中学校区における学校間連携の推進
- ◎地域の方々との交流行事の実施

◎：特に重点的に取り組むこと

具体的な取組

- 基礎基本の定着と活用
 - ・児童の実態把握（全国学力調査・県学習到達度調査の結果分析と対策）
 - ・学んだことを活かして課題を解決する学習活動を増やす
 - ・「和歌山の授業づくり 基礎・基本3か条」を徹底した授業づくり
- 国語力の充実
 - ・「聞く・話す」「読む」を系統立て、正しく豊かな言葉の力や、物語を読み取る力を育てる
 - ・学校図書館を活用した読書活動と家庭読書の推進

- 道徳的な判断力、実践意欲と態度を育てるため、道徳の授業の充実に努める
- いじめアンケートを毎学期実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める
- 情報モラルやネット社会に潜む危険性について学ぶ機会をもつ
- ペア学年での活動や、特別活動で子供同士が関わる機会を増やす

- 健康や安全に気をつけ、健やかな体の保持増進や運動を楽しむ子どもを育成する
- 「早寝、早起き、朝ごはん」等の基本的生活習慣の定着を図る
- ゲーム・ネット使用時間について保護者との連携により、決まりを守らせるようにする
- 避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、災害や不測の事態における危機回避能力を育成する

- 学校だより、HP等を活用し学校の情報を発信するとともに、授業や行事等を積極的に公開する
- 教職員が地域活動に参加し、積極的に交流を図る
- こぼと学園、紀伊中学校および中学校区の小学校との連携を図る
- 授業や学校行事に地域人材や自然、文化を積極的に活用する
- 保護者、地域への学校行事参加の呼びかける

指標

- ・県学習到達度調査で正答率が県平均を上回る
- ・児童アンケートの「すすんで勉強に取り組んでいる」の項目で「あまりそう思わない」が0%

- ・児童アンケートの「私は学校が楽しい」の項目で「あまりそう思わない」が0%
- ・いじめの解消率100%

- ・朝ごはんを食べた（児童100%）
- ・毎日、同じくらいの時間に寝ている（児童100%）
- ・学校は安全（児童100%）

- ・学校の様子がよく伝わった（保護者90%以上）
- ・地域やPTAの行事は、地域のよさを知る機会になっていますか。（児童100%）